



大 幼



令和4年度
園長だより No.11
令和5年3月3日

キラキラできた「お楽しみ会」

2月15日のきく組の発表を皮切りに今年度の成長をありのままに観ていただく「お楽しみ会」が行われました。子どもたちが主体的に活動を起こし、チャレンジしたり演じたりしながら探究心や表現力を磨いていました。

子どもたちは、保護者からの愛情たっぷりの視線に見守られ、日頃培った遊びの力を発揮していました。張り切りすぎた一面は、その意欲を「丁度いい加減」と認めてあげてください。また、反対に人前を出ることを苦手としているお子さんには、「また次の機会があるさ」と励ましてあげてください。そこで自尊心を傷つけるような声掛けは全く必要ありません。それぞれの心を見守り・支えて・励まして育て、その子のありのままの今を受け止めましょう。なんたって、ここは、人生の土壌をつくる附属幼稚園なのですから。



今年度の締めくくりの時



2月は、PTAの評議員会等がリモート開催されたり、学校評議員会及び学校関係者評価委員会を終えたりして、今年度の総括が行われました。学校評議員会とは、地域住民の学校運営への参画する制度として位置付けられ、地域に開かれた学校の核心ともいえます。

評議員からいただいた感想・意見や、保護者からアンケートを通していただいた評価を今後の幼稚園経営に活かしていきたいと考えております。

役員の皆様、1年間お疲れ様でした。

安全性を高める幼稚園を目指す



今年度は、保育に関わる事件や事故が社会問題となりました。あってはならない事実が次々と明らかになり、幼児や保護者に多大なる不安を与え、同じ保育現場で働く者の心を大きく傷つけました。

附属幼稚園では、保護者が毎日送り迎えをしてくれています。これ以上に安全性の高い送迎はありませんし、さくら連絡網での出欠や遅刻といった連絡も毎朝確認しながら徹底を図ってきました。さらに安全性を高めるために、出席確認の時間を設定してチェック表で確認するようにしました。現在は9時10分に出席確認をしていますので、出席・欠席・遅刻の連絡は、引き続き朝8時までの入力をよろしく願います。

また、お気づきの方もいるかもしれませんが、幼稚園の玄関内に保健おしらせボードを設置し、感染症による欠席者数を表示する取組を始めました。ご家庭での健康管理にお役立てください。